

鶴川西地区の新たな学校名の選定について

鶴川西地区の新たな学校の校名を検討するにあたって、多くの方から学校名意見募集の回答をいただきました。今後、9月に開催する第8回基本計画検討会において、3案程度に選定することを目標とします。

1 第6回鶴川西地区検討会ワークショップの各グループにおける発言要旨

Aグループ

- 「鶴川」という名称がどの範囲を示すのか、受け取り方は人それぞれ。昔から住んでいる人は小野路まで含むというし、最近住み始めた人からすると駅周辺を示す。
- 「鶴川中央」のような名称だと「中央ではない」などの意見が出るのではないかと。
- ナンバースクールはやめた方が良い。
- 「なかよし」のような名称は幼稚園のような名称のためやめた方が良い。
- 「けやき」や「サルビア」などは、「町田市」としての特徴なので、他地区と被る可能性があり、やめた方が良い。
- 「鶴川台」は、土地の形状として「台地」ではなく「谷戸」であるのでやめた方が良い。
- 「鶴川」はあった方が良い。
- 「鶴川」にこだわる必要は無い。

Bグループ

- 新しくできる学校の位置は「真光寺」ではなく、元々は「大蔵」であった。
- 現在検討をしている地区名をとって、「鶴川西」ではどうか。鶴川東地区で検討をしている学校は「鶴川東」でどうか。
- 漢字でもひらがなでも、「つるかわ」という読み方を使用したい。
- 簡単に単純な名前の方が良い。

2 新たな学校名の複数案選定の流れについて

(1) 今回（第7回（8月））のワークショップ

2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換します。

- ①委員の皆さまから、良いと思う学校名を2～3案程度と、その校名が良いと考える理由をお伺いします。
- ②学校名とその理由をグループ化し、学校名を選定するにあたって大切にすべき考え方について意見交換します。
- ③お伺いした意見内容を整理し、今後、本検討会で学校名を選定するにあたって大切にすべき考え方を共有します。

(2) 次回（第8回（9月））のワークショップ

2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換します。

- ①第7回のワークショップで確認した大切にすべき考え方を基に、グループごとに2案程度を選定します。
- ②2グループで選定した案を全体で確認し、鶴川西地区新たな学校の学校名（案）として複数案（3案程度）を選定します。

■参考 教育委員会の学校名選定の考え方について

- ①地名を大切にする（地域内の川、山、丘、旧跡等も含む）
 ②難しい漢字は使わず、読みやすく、わかりやすいものとする。
 ③長い学校名とならないようにする。
 （例：南つくし野小（5文字7音）
 本町田東小・鶴川第一小・鶴川第三小・鶴川第四小（4文字8音）

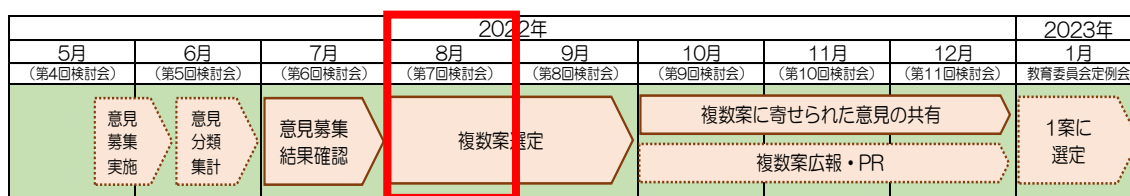
3 選定後の広報について

複数案選定した後の案は、市民に広く広報し意見を伺う機会を設けます。

【想定している広報】

- ・広報まちだ 10月以降
- ・町内会・自治会回覧板、掲示板 10月以降
- ・ポスター掲示（公共施設、民間施設） 10月以降

4 今後のスケジュール



※実線で表記している事項：本検討会で検討。

- ・8月～9月 : 複数案選定作業
- ・10月以降 : 複数案を広報、PR
- ・1月以降 : 教育委員会で1案に選定